

6 教育普及

(1) 講座・教室

ア 植物学講座

野外観察会や室内学習を通して、身近な自然や生物への興味・関心を高めることを目的とした通年講座。全6回実施、室内講座では学芸員や外部講師による専門的な話題の紹介・解説等を行い、観察会では植物に限らず、身近な生きものを幅広く観察して楽しむことを目的に開催した。

日付	内 容	参加人数
5/16	野外観察会（博物館周辺） 標本のつくり方	32 人
7/18	薬用植物について （熊大薬学部薬用植物園、 講師：渡邊 将人 氏）	20 人
10/5	野外観察会（金峰山）	18 人
11/21	熊本の外来生物について （企画展解説および観覧）	21 人
1/16	ミニ講演会・植物遺伝資源学 （講師：長野 克也 氏・東海 大学名誉教授）	23 人
3/15	野外観察会（立田山）	20 人

イ 保存科学講座

様々な劣化要因から資料を守るポイントや被災時の応急処置方法を体験しながら学ぶ通年講座。5月から3月まで全6回を実施した。

日付	内 容	参加人数
5/10	保存科学とは	17 人
7/12	文化財の保存処理方法	19 人
9/6	文化財の保管方法について	17 人
11/2	被災資料の応急処置方法	13 人
1/10	文書修復と装訂について	12 人
3/7	文化財の写真撮影とフィルムの管理	11 人

ウ 古文書講座（実践編）

古文書読解の実践力を養成する通年講座。5月から3月まで全6回を実施した。

日付	内 容	参加人数
5/17	講座説明・テキスト配布	26 人
7/26	「忠利公御年譜」翻刻解説	19 人
9/20	「忠利公御年譜」翻刻解説	20 人
11/15	「忠利公御年譜」翻刻解説	17 人
1/17	「忠利公御年譜」翻刻解説	18 人
3/21	「忠利公御年譜」翻刻解説	15 人

エ こども学び教室

実施の経緯

熊本博物館は開館以来、自然・文化・歴史資料などの保存・継承と、それらの価値や魅力を発信する拠点としての役割を担っているが、多様化する現在において人々のニーズに応じた学習活動支援をはじめ、多面的な機能を発揮することが求められている。

そのような中、平成11年度より青少年が楽しく活動しながら自然科学の原理や技術を体験的に学ぶことのできる「こども科学・ものづくり教室」を開催してきた。平成30年のリニューアル後は、実験・工作室、講堂、塚原歴史民俗資料館を会場として、理工分野に関する科学実験や工作を中心に年間25～30日の教室を行った。熊本大学や熊本県立大学、崇城大学とも共催イベントを行うなど連携を図りながら内容の充実を図ってきた。

令和7年度（2025年度）の取組

令和7年度からは、より多くのニーズに応えるべく、内容を生物、地質、考古、歴史、美術工芸、民俗、保存科学へ拡充し、名称を「こども学び教室」と変更した。総合博物館として、これまで以上に多様な学びを提供してきた。

最終的には33日間：延べ43回の教室を行い、1,696人（内：子ども約6割）の参加があった。

実施内容

実施日	場所	タ イ ト ル	担 当 者（分 野）	参加人数
4/12	実 験 工 作 室	空気砲ボウリングを楽しもう（2回）	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	40 人
4/26	実 験 工 作 室	チリメンモンスターを探せ	清水 稔（動物）	50 人
4/29	実 験 工 作 室	風船 CD ホバークラフトを作ろう！（2回）	西田 範行（地質）	24 人
5/3	実 験 工 作 室	古代体験・巴形銅器のレプリカを作ろう！	清田 純一（塚原歴史 民俗資料館元職員）	35 人
5/3	特 別 展 示 室	講演会「熊本県下の精霊流し」	湯川 洋史（民俗）	63 人
5/4	博 物 館 周 辺	身近な生きものを観察しよう！	清水 稔（動物）	26 人
5/5	実 験 工 作 室	ミョウバンの結晶を育ててみよう！（2回）	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	52 人
5/6	実 験 工 作 室	和綴じ本を作ってみよう！	坂本 直也（保存）	11 人
6/7	実 験 工 作 室	野菜で布を染めてみよう	山口 瑞貴（植物）	40 人
7/19	実 験 工 作 室	初めての標本づくり	清水 稔（動物） 山口 瑞貴（植物）	50 人
7/19	実 験 工 作 室	自由研究相談会	清水 稔（動物） 山口 瑞貴（植物） 西田 範行（地質）	22 人
7/26	実 験 工 作 室	スライムを作ろう	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	100 人
7/26	講 堂	手作りランタンで館内探検	村上 幸奈（美工） 木山 貴満（歴史） 坂本 直也（保存）	66 人
8/16	講 堂	影絵であそぼう！	村上 幸奈（美工） 木山 貴満（歴史） 坂本 直也（保存）	164 人
8/16	実 験 工 作 室	大気圧・真空実験ショー（3回）	西田 範行（地質）	263 人
8/23	実 験 工 作 室	自由研究相談会	清水 稔（動物） 山口 瑞貴（植物） 西田 範行（地質） 各分野講師 5 名	9 人
9/6	実 験 工 作 室	銅鏡のレプリカを作ろう	坂本 直也（保存）	29 人
9/28	阿蘇郡西原村 俵 山	自然観察会	清水 稔（動物） 山口 瑞貴（植物） 西田 範行（地質）	16 人
10/18	実 験 工 作 室	ゆらゆら揺れる秋色モビールを作ろう	村上 幸奈（美工）	19 人
10/18	講 堂	オリジナル花押を作ろう	木山 貴満（歴史）	10 人

実施日	場所	タイトル	担当者（分野）	参加人数
11/3	上天草市 龍ヶ岳町	化石観察会	西田 範行（地質） 清水 稔（動物） 山口 瑞貴（植物）	23 人
11/16	実験工作室	木に学ぶ～円形木琴作り～	熊本大学職員及び学生	28 人
11/22	実験工作室	プログラミング教室	熊本県立大学職員及び学生 崇城大学職員及び学生	39 人
11/29	実験工作室	アンモナイトのレプリカ作り	西田 範行（地質）	25 人
12/6	実験工作室	発掘品による答えのないパズルに挑戦しよう	下高 大輔（考古）	3 人
12/14	実験工作室 講 堂	電波教室～クリスマスイルミネーション作り～	日本アマチュア無線連 盟熊本県支部員 熊本県電波適正利用推 進協議会員	32 人
1/17 ・18	特別展示室	特別展「八雲とセツ家族の物語」親子向け解説（4回）	湯川 洋史（民俗）	214 人
2/7	実験工作室	液体窒素実験ショー（3回）	西田 範行（地質）	150 人
2/11	古城堀端公園	加藤清正最初の築城、「隈本古城」を探る	下高 大輔（考古）	21 人
2/21	実験工作室	特別解説！御座船波奈之丸のヒミツ	木山 貴満（歴史）	10 人
2/23	実験工作室	半導体教室～こんなところにも半導体！～	熊本大学職員及び学生	20 人
2/28	実験工作室	身近な素材でちぎり絵をつくろう	村上 幸奈（美工）	26 人
3/14	実験工作室	春の体験ミュージアム「木を科学しよう～ひのきの箸づくり～」	崇城大学職員	16 人

ミョウバンの結晶を作ろう		温度による溶解度の違いを利用し、プラスチックケースの中央部分に吊るしたミョウバンの種結晶を大きく成長させる体験教室である。翌日以降、ケースから取り出した大きくなった結晶を笑顔で受け取っていた。
自由研究相談会		夏休み初めに実施するテーマを決めるための相談会と、終盤に実施するまとめ方に関する相談会で、楽しく自由研究に取り組むための手伝いを目的として行った。まとめ方では、採集標本の名づけや、集めたデータからわかることなどを教えた。

ゆらゆら揺れる 秋色モビールを 作ろう		モビールは、割り箸 2 本を組み合わせせて支柱とし、自由に紙やフェルトでモチーフを作ってタコ糸で吊るす形。 こどもたちの思いもよらないアイデアが飛び出し、十人十色のモビールが出来上がった。
オリジナル花押 をつくろう		加藤清正や有名大名の花押の解説・紹介を行ったあと、参加者の自由な発想でオリジナルの花押を考えてもらった。完成したオリジナル花押は、筆ペンで清書してもらった。
化石観察会		上天草市龍ヶ岳町の海岸で、地層の観察や化石採集を行った。参加者は、中生代白亜紀後期の地層から、アンモナイトやイノセラムス等の化石を採集することができた。帰りに、御輿来海岸の「ふとん岩」を観察し、タービダイト堆積物について学んだ。
プログラミング 教室		市販のプログラミングロボットを操りミッションをクリアしていく体験を通して、プログラミングを学ぶことができた。参加者は生き生きとした表情で活動に没頭していた。
アンモナイトの レプリカ作り		アンモナイトの型枠に石膏を流し込んで固めた後、型枠から外して墨を塗って仕上げると、本物そっくりの標本が出来上がった。作業の途中、スライドや本物のアンモナイト化石・オウムガイを使って、参加者の興味・関心を高めるための解説も行った。
発掘品による答 えのないパズル に挑戦しよう		遺跡から出土した土器・陶磁器の破片に実際に触れてもらい、接合できるものを探す体験をしてもらった。考古学や昔のモノの解説を入れつつ、壊れたモノの元の姿を想像しながら、作業に没頭していた。

(2) 講師派遣

日 時	内 容	場 所	担当者（分野）	参加人数	主催等
5/27 14:30～16:00	歴史サロン花畑 歴史講座	熊本市 歴史文書資料室	湯川 洋史（民俗）	39 人	熊本市 歴史文書資料室
6/23 13:00～14:30	博物館の役割	尚絅大学武蔵丘キャンパス	坂本 直也(保存)	32 人	尚絅大学 こども教育学部
7/ 5 10:00～12:00	自由研究の進め方 スライム作り	砂取小学校	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	75 人	砂取小3年PTA
7/27 10:00～12:00	立田山の生きもの観察会	立田山	清水 稔（動物）	59 人	立田山自然探検隊
7/31 8:30～16:30	熊本市小理夏季巡検会 「熊本市の地質」	南区、東区、益城町	西田 範行（地質）	19 人	熊本市小学校理科教育研究会
8/4 9:30～10:30	福井市交流事業対応 ～科学実験体験	実験・工作室	松下 公博(理工)	31 人	地域教育推進課
8/6 13:20～14:10	教員のための博物館の日 in 合志（科学工作）	合志市総合センター ヴィーブル （合志市）	西田 範行（地質）	12 人	熊本県博物館ネットワークセンター
8/8 10:00～11:00	出水南小家庭教育学級 （親子で楽しむ科学）	実験・工作室	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	25 人	校区公民館 （教育政策課）
8/10 14:00～16:00	～文化財講座～ 銅鏡鑄造体験	あさぎり町生涯学習センター	坂本 直也(保存)	30 人	あさぎり町教育委員会
10/4 9:30～11:30	親子水辺の生きもの観察会	江津湖	清水 稔（動物）	30 人	子育てネットワーク縁側 moyai
10/19 13:00～14:00	人吉市出前講座 「郷土の歴史を知ろう」	人吉市 井ノ口公民館	村上 幸奈（美工）	22 人	人吉市
11/2 10:00～14:30	八景水谷に生息する生物の観察会	熊本市水の科学館及び八景水谷公園	清水 稔（動物）	18 人	熊本市上下水道サービス公社
11/10 13:00～16:30	熊本県公立高校理数科研究発表会（審査・助言）	くまもと森都心プラザ	西田 範行（地質）	100 人	熊本県公立高校理数科連絡協議会
11/14 13:30～14:30	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修会	実験・工作室	木山 貴満（歴史）	5 人	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
11/15 11:00～12:00	白山小家庭教育学級 （液体室素実験）	実験・工作室	西田 範行（地質）	25 人	校区公民館 （教育政策課）
11/26 13:30～15:30	展示リニューアル事業ヒアリング及び研修会	講堂	木山 貴満（歴史）	14 人	株式会社 乃村工芸社
11/29 13:00～14:30	東京女子大学同窓会 熊本支部講演会	くまもと県民交流会館パレア	木山 貴満（歴史）	40 人	東京女子大学同窓会熊本支部

日 時	内 容	場 所	担当者（分野）	参加人数	主催等
12/20 12:30～16:30	文化財害虫から博物館資料をまもる	奈良大学令和館	坂本 直也（保存）	100 人	山陵の丘研究会
1/16 10:30～11:30	博物館の紹介と工作体験	向山幼稚園	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	11 人	向山幼稚園
1/17 10:00～12:00	わくわくえづっこ塾 「春の七草を探そう」	水前寺江津湖公園広木地区	山口 瑞貴（植物）	10 人	水前寺江津湖公園サービスセンター
2/7 10:00～11:30	キッズ・ミュージアム in 御船（科学工作）	御船町カルチャーセンター	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	16 人	熊本県博物館ネットワークセンター
2/11 13:30～16:30	細川家御座船「波奈之丸」シンポジウム	ホテル熊本テルサ	木山 貴満（歴史）	300 人	細川文化研究会
2/19 13:10～14:45	IPM（総合的有害生物管理）について	講堂	坂本 直也（保存）	13 人	鹿児島県博物館協会
3/11 13:30～14:30	簡単な実験と工作体験	実験・工作室	松下 公博（理工）	18 人	百合ヶ丘保稚園
3/12 9:20～9:50	動物の体のつくり	講堂	清水 稔（動物）	18 人	リズム幼稚園

（３）実習

学芸員資格取得のための博物館実習を実施した。

期 間 8 月 20 日（水）～8 月 25 日（月）

大 学 熊本大学 3 人、崇城大学 1 人、駒澤大学 1 人、西南学院大学 1 人、京都府立大学 1 人、福山大学 1 人、福岡大学 1 人、宮崎大学 1 人、鹿児島大学 1 人
（計 11 人）

内 容

（1 日目）オリエンテーション、館内見学、管理事務・設備概要

（2 日目～6 日目午前）

【自然系】動物・植物・地質・保存科学実習・プラネタリウム対応・課題製作

【人文系】考古・歴史・美術工芸・民俗・保存科学・撮影実習・プラネタリウム対応・課題製作

（6 日目午後）展示課題発表・まとめ

（４）学校教育支援事業

ア「派遣授業」及び「館内学習」

実施の経緯

社会教育・生涯学習の拠点施設である博物館と学校との連携（博学連携）については、その必要性・重要性が以前にも増して高まってきた。そのような状況をふまえ、これまでの教育普及活動の中で学校教育支援を強化すべく、教材として価値のある収蔵資料と学芸班職員の知識・技能を学校の授業の中で有効活用する「派遣授業」（平成 26 年度開始）と、館内展示物や収蔵資料を来館した学校の学習活動に活かす「館内学習」（平成 31 年 1 月開始）の充実を図っている。単元名や学習活動を示した「派遣授業」学習プログラム集（平成 26 年度初版）と「館内学習」学習プログラム集（平成 29 年度初版）を作成して市内全小中学校へ配布している。いずれも市内の公立小中学校で使用されている教科書に準拠しており、教科書の改訂及び採択の都度見直しを図ってきた。令和 6 年度には

小学校教科書変更に伴い「派遣授業」学習プログラム集を、令和 7 年度には中学校教科書変更に伴い「館内学習」学習プログラム集の改定を行った。

「館内学習」の利用に限らず、来館した県内の学校は小学校 110 校・中学校 23 校（延べ数）と、増加傾向にある。今後もスタッフ相互の定期的な情報交換を通してよりよい運営方法を模索し、学校教育支援事業を充実させていく。

令和 7 年度（2025 年度）の取組

令和 7 年度は別表に示しているように、「派遣授業」は延べ 10 校：23 時間（内、Zoom 授業：2 時間）、
「館内学習」は延べ 30 校：35 プログラムを実施した。「館内学習」においては、学習プログラム集で紹介している学習シートだけでなく、冊子内に掲載していない写真資料や実物資料も交えながら担当の学芸班職員が興味深い解説を行った。参加の児童・生徒は意欲的に学習に取り組んでいた。

派遣授業【延べ10校：23時間】(Zoom授業で実施：Z印)

実施日	学 校	学 年	教 科 等	タ イ ト ル	担 当 者 (分 野)	参 加 人 数	時間数
5/28	第二高校	1年	理 科	江津湖の概要と動植物相について	清水 稔 (動物) 山口 瑞貴 (植物)	41人	1時間
6/25	オンラインスクール	全	理 科 社 会 科	水の実験 (Z) 考古展示解説 (Z) 美工展示解説 (Z)	松下 公博 (理工) 下高 大輔 (考古) 村上 幸奈 (美工)	50人	1時間
7/4	熊大附属小	4年	理 科	夏の生き物を探そう	清水 稔 (動物) 山口 瑞貴 (植物)	107人	3時間
7/17	桜木小	4年	理 科	閉じこめた空気を押してみよう	松下 公博 (理工) 藤米田成二 (教育)	72人	30分
11/5	健軍小	4年	理 科	わたしたちの体と運動	清水 稔 (動物)	90人	2時間
11/7	熊大附属小	4年	理 科	秋の生き物を探そう	清水 稔 (動物) 山口 瑞貴 (植物)	107人	3時間
12/5	西原小	3年	社 会	熊本市の移り変わり	村上 幸奈 (美工)	120人	4時間
2/26	オンラインスクール	全	理 科 社 会 科	天文解説 (Z) 保存科学解説 (Z) 地質解説 (Z)	藤米田成二 (教育) 坂本 直也 (保存) 西田 範行 (地質)	60人	1時間
3/6	西原小	3年	理 科	おもちゃショーを開こう	松下 公博 (理工) 藤米田成二 (教育)	104人	4時間
3/11	西原小	4年	理 科	春の生き物を探そう	清水 稔 (動物) 山口 瑞貴 (植物)	96人	3時間



桜木小4年理科「空気の性質」



西原小3年「熊本市の移り変わり」

館内学習【延べ 30 校：35 プログラム】

実施 日	学 校	学年	教科等	タ イ ト ル	担 当 者（分 野）	参 加 人 数	時間
5/21	大 津 高 校	2 年	理 科	江津湖の水生動植物相の現状と博物館の役割	清水 稔（動物）	40 人	2 時間
5/22	学園大附属 中 学 校	3 年	探 求	文化財の保護	坂本 直也（保存）	6 人	1 時間
7/17	松橋支援学 校 高 等 部	3 年	理 科 社 会	館内展示解説 展示室にて質疑応答	松下 公博（教育）	3 人	40 分
9/5	芳 野 中	特支	理 科	ステゴドンのひみつ	松下 公博（教育）	12 人	20 分
9/7	松橋支援学 校 中 学 部	2 年	理 科	スライムを作ろう	松下 公博（理工）	4 人	30 分
9/9	弓 削 小	5 年	理 科	金峰山の生き物	清水 稔（動物） 山口 瑞貴（植物）	50 人	30 分
10/15	益 城 町 立 広 安 小	3 年	社 会	昔の道具と人々の知恵	松下 公博（教育） 藤米田成二（教育）	117 人	40 分
10/22	菱 形 小	3 年	理 科	ステゴドンのひみつ	松下 公博（教育）	25 人	20 分
10/23	大津町立大 津北・護川小	3 年	社 会	昔の道具と人々の知恵	湯川 洋史（民俗）	39 人	20 分
10/24	南小国町立 市 原 小	3 年 4 年	社 会	昔の道具と人々の知恵 通潤橋について	藤米田成二（教育）	21 人	20 分
10/28	南関町立南 関 第 一 小	1 年 2 年	生 活	昔の道具と人々の知恵 ステゴドンのひみつ	藤米田成二（教育） 松下 公博（教育）	54 人	40 分
10/28	長 島 町 立 川 床 小	6 年	理 科	熊本の自然	清水 稔（動物）	6 人	20 分
10/29	対 馬 町 立 厳 原 中	2 年	社 会	熊本城について	下高 大輔（考古）	5 人	20 分
10/30	宇 土 市 立 宇 土 東 小	3 年	理 科	ステゴドンのひみつ	松下 公博（教育）	40 人	30 分
10/30	上天草町立 中 南 小	3 年 4 年	社 会	博物館の役割	松下 公博（教育）	36 人	20 分
10/30	宇 城 市 立 青 海 小	3 年	社 会	ステゴドンのひみつ	松下 公博（教育）	12 人	20 分
10/30	託 麻 東 小	3 年	社 会 理 科	波奈之丸について ステゴドンのひみつ	藤米田成二（教育） 松下 公博（教育）	203 人	30 分
10/31	京 陵 中	2 年	理 科	ステゴドンのひみつ	松下 公博（教育）	16 人	20 分
10/31	一 新 小	2 年	社 会 理 科	博物館の役割 熊本の昆虫	坂本 直也（保存） 清水 稔（動物）	74 人	40 分

実施 日	学校・園	学年	教科等	タ イ ト ル	担当者（分野）	参 加 人 数	時間
11/ 7	菊池市立武蔵ヶ丘小	3 年	社 会	昔の道具と人々の知恵	湯川 洋史（民俗）	30 人	20 分
11/21	フレンドリー教室	小中	理 科	科学実験・もの作り	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	9 人	90 分
12/ 3	枕崎市立枕崎小	6 年	理 科	熊本地震 化石について	西田 範行（地質）	53 人	40 分
12/23	本 荘 小	1 年 2 年 3 年	生 活 社 会	博物館の役割	坂本 直也（保存）	39 人	30 分
12/23	本 荘 小	4 年 5 年 6 年	理 科	水生動物のつながり	清水 稔（動物）	31 人	30 分
1/30	熊大附属特別支援学校	高 等 部	理 科	動物の生態系 館内展示解説	清水 稔（動物）	24 人	1 時間
2/4	必由館高校	1 年	総 合	経営課題の解決を考える	濱洲 義昭	3 人	1 時間
2/13	フレンドリー教室	小中	理 科	科学実験・もの作り	松下 公博（理工） 藤米田成二（教育）	8 人	1 時間
2/13	必由館高校	1 年	総 合	経営課題の解決を考える	濱洲 義昭	1 人	1 時間
2/27	武蔵ヶ丘中	1 年	理 科	科学実験・もの作り	松下 公博（理工）	8 人	1 時間



弓削小 5 年「金峰山の生き物」



大津町立大津北・護川小 2 年
「昔の道具と人々の知恵」

イ 職場体験

今年度はナイストライ 3 件を受け入れ、館内業務・学芸業務体験等の機会を提供した。

実施日 7 月 8 日（火）～10 日（木）

11 月 18 日（火）～20 日（木）

参加者 京陵中学校 3 人（7/8～7/10）

湖東中学校 2 人（7/8～7/10）

西山中学校 4 人（11/18～11/20）

ウ 見学・講義等（大学）

尚綱大学

こども教育学部の授業の一環として博物館の役割についての派遣授業。

日 時 6 月 23 日（土）13:00～14:30

県立大学国際教育交流センター

授業の一環として館内見学。

日 時 6 月 27 日（金）13:30～14:30

崇城大学

授業の一環として、館内見学及びプラネタリウム視聴。

日 時 6 月 28 日（土）10:00～12:00

尚綱大学

こども教育学部の授業の一環として館内見学及びプラネタリウム視聴。

日 時 6 月 28 日（土）9:30～12:30

九州ルーテル学院大学

教員養成課程の学生に向けた、博物館の役割についての講義と館内見学、プラネタリウム見学。

日 時 7 月 19 日（土）13:00～17:00

日本総合教育専門学校

教員養成課程の学生に向けた、博物館の役割についての講義と館内見学、プラネタリウム見学。

日 時 7 月 23 日（水）9:20～10:00

東海大学

農学部農学科の授業の一環として、外来生物に関する講義及び展示室の見学。

日 時 11 月 15 日（土）13:00～15:00

尚綱大学

生活科学部、生涯学習概論の授業の一環として、博物館における生涯学習についての講義及びプラネタリウム、館内見学。

日 時 12 月 6 日（土）9:30～12:00

エ 教職員研修

館内学習プログラム解説編

「活用資料の魅力や価値に迫る！」

学校教育支援事業で活用する「館内学習プログラム集」を基に、そのプログラム内で紹介している館内展示物・資料等の価値や魅力を各担当学芸員が教師向けに解説した。

館内学習プログラム集は新規の内容を中心に、座学と現地（展示室）での資料見学・実物見学を通して補足説明・質疑応答などを行った。

日 時 8 月 18 日（月）

① 9:00～11:45（人文系解説）

② 13:15～16:00（理工系解説）

参加者 ①14 人 ②17 人

オ KEW（熊本エデュケーションウィーク）での取組

令和 2 年度から熊本市が始めた取組で、熊本博物館は令和 3 年度より参画している。

当館が行っている「博学連携事業」の一端を、広く知っていただくために、これまで、中学生や高校生の職場体験や大学生の実習、教職員向け講座、学芸員や研究員が行っているイベントの様子などを動画により発信してきた。令和 7 年度は再開された熊本市立金峰山自然の家との連携の様子を 10 分程度の番組にまとめて紹介した。ともに、YouTube でのアーカイブ視聴が可能である。

（５）ホームページコンテンツ

令和 5 年にホームページにて開設した、「くまはくオススメ！資料・実験工作・観察法・エトセトラ紹介・解説コーナー」は、各分野の資料の紹介や実験、ものづくりの素材やミニ知識などを掲載しており、家庭に居ながらにして博物館の学びを体験できるコンテンツとなっている。興味を持って学んでもらえるよう順次更新している。